

今月の特集は带状疱疹である。我が国の带状疱疹の疫学については、有名な宮崎スタディによりほぼ全容が解明されたといつてよいが、高齢化やワクチンの普及による今後の変動については予断を許さない。

小児への水痘ワクチンは2014年から定期接種となった。以後、水痘の発症は急激に減り、今では外来で水痘をみることはほとんどなくなっている。世界中で使用されている水痘ワクチンは、我が国で分離・弱毒化された岡株というウイルスによる生ワクチンである（岡はウイルス分離材料を提供した水痘患児の名前）。岡株は弱毒化されているので、潜伏感染による带状疱疹は引き起こさない、ないしは起こしにくいとの見方があったが、その後带状疱疹の患部から岡株が検出される例が相次いで報告され、ワクチン既接種で水痘罹患歴のない人にも带状疱疹が発症しうることが明らかとなった。水痘ワクチン接種者はまだ若年なので、野生株感染例と比較した带状疱疹発症頻度や重症度などは明らかではないが、生ワクチンを使用する限り、带状疱疹の発症はゼロにはならないだろう。

一方で、水痘の減少により市中からVZVがなくなれば、既感染者へのブースター効果がなくなって早期に免疫が切れるため、带状疱疹の発症が早まる、ないし増加するのではないかと懸念される。今後、高齢者への带状疱疹ワクチン接種の重要性が高まるものと思われる。

さらに事態を複雑にしているのは、コロナワクチンの影響である。带状疱疹は頻度が高い疾患なので、コロナワクチン接種後に带状疱疹が発症しても因果関係を証明することは難しかった。しかし最近の各国での調査によれば、コロナワクチン接種により带状疱疹が誘発されうることとはほぼ間違いないようである。トルコでの調査では、コロナワクチンによる皮膚の副反応のうち25%が带状疱疹であったという驚くべき数字が報告されている（Oguz Topal I et al: J Cosmet Dermatol, 22: 354-363, 2023）。コロナワクチンの接種がいつまで続くのかわからないが、今後の带状疱疹の疫学に影響を与える因子であることは間違いない。

皮膚科医は職業的に頻繁にVZVに曝露されるので、ブースター効果により带状疱疹に罹りにくいと言われてきた。その説の当否はさておき、水痘をみなくなった昨今では大したブースター効果は期待できない。そこで带状疱疹ワクチンの接種を考えるとところであるが、副反応が少なく値段が安いが発症抑制効果が低い岡株ワクチンと、副反応が多く値段が高いが発症抑制効果が大きい組み換え蛋白ワクチンのどちらがよいか、判断がつかないでいる。ぐずぐずしているうちに、带状疱疹に罹ってしまうかもしれない。

（相馬良直）

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐 敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第65巻 第4号 4月号

2023 年 4 月 1 日発行（毎月 1 回 1 日発行）

定価 3,190 円（本体 2,900 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 48,950 円（本体 44,500 円＋税 10%）

〔年間 13 冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕

TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03(3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・JCOPY＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。